

レンタサイクルを基軸としたしまなみ海道活性化事業

事業概要

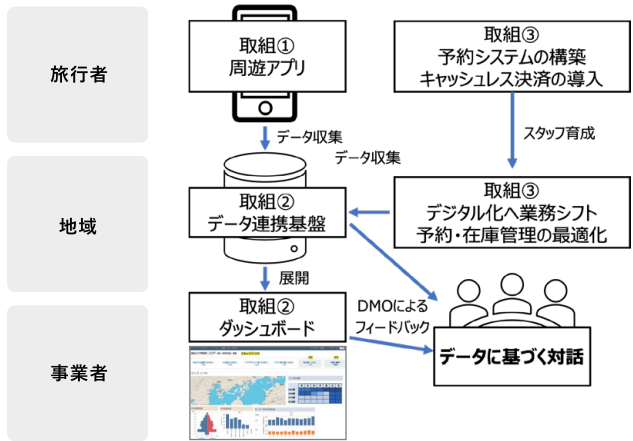
課題

しまなみ海道は、2019年はレンタサイクルの貸出台数が15万台、利用者全体が34万人（マイ自転車利用者含む）とサイクルツーリズムが地域の観光振興に大きな役割を担っているが、利用者の顧客情報・行動履歴等のデータが把握できていない。また、事業者間による相互送客等が出来ていないほか、使い勝手の悪い予約システムと、現金決済のための、旅行者の利便性が低く、周遊促進・消費拡大が図れていない。

取組

本事業では、継続的な観光需要を創出し、持続的な地域活性化の達成を図るために、レンタサイクルの利用者に対しスマートフォンアプリを通じて、地域の情報発信や予約システム・デジタル決済を提供し、旅行者の利便性を向上させるとともに、地域への再訪を促すことで、観光消費の拡大に取り組んだ。

実証事業における取組イメージ



目標と成果

目標

レンタサイクル利用者のしまなみ海道における周遊促進・消費拡大を図るため、スマートフォンアプリを通じて、現在地・走行距離・天気・趣味嗜好に基づく高度なレコメンドを発信する。

成果

旅行者の利便性向上と周遊促進を図り、観光消費額の拡大とデータの収集・活用による今後の観光消費拡大に向けた施策検討のための基盤を構築

レンタサイクル利用者向けのスマートフォンアプリの構築・運用したことで、その時・その場所・その人に応じた観光情報の提供ができ、旅行者の利便性向上と周遊促進が図れた。また、スマートフォンアプリ・データ連携基盤・予約システム等の複数システムを連携したことにより、「走行経路（GPSログ）」や「訪問地点」等のデータが収集可能となった。収集したデータを活用することで、旅行者の来訪状況や地域内の周遊状況を把握することができ、観光消費につながる今後のアクションプランの検討が可能となった。

項目	目標項目	目標値	実績
取組① レンタサイクル利用者向け 周遊アプリの構築・運営	アプリで計測可能な訪問地点 延べ数 ※2023年10月14日～2024年2月16日迄	45,000地点 (20,850へ見直し)※1	24,963地点
	アプリのダウンロード ※2023年10月14日～2024年2月16日迄	10,000DL (5,000へ見直し)※1	5,475DL
取組② データ連携基盤の構築	データ分析のベースとなるデータ連携基盤並びに BIツール・ダッシュボードの構築		実施
取組③ 予約システム、キャッシュ レス端末の導入	予約システム構築、受付のペーパーレス化、 キャッシュレス決済のデジタル化による業務改善		実施

※1 デジタル化シフトによるスタッフの負担増加によりインバウンドを外し国内旅行者をターゲットに12月より新たな目標値で実証事業を推進。

取組エリア：広島県尾道市、愛媛県今治市、上島町 コンソーシアム名：しまなみ海道DXコンソーシアム（代表事業者：しまなみジャパン）